

発行人 今村久美子 編集人 下重喜代

〒191-0041日野市南平2-56-10 E-mail: csc-hino@angel.email.ne.jp
Tel&Fax 042-591-0248 http://www.angel-hino.com/

NPO法人市民サポートセンター日野 / 郵便振替番号 00180-0-612689

Link

Linkは、わたしたちのNPOが市民と市民、市民と行政、市民と事業者、市民と学校、子どもと大人といった様々な人たちをリンク（Link：つなぐ）することを、そして心と心をつなぐことを目指しています



「新選組ふるさと歴史館」で活躍のサポーター



月例ミーティングで常に研鑽する
ふれあい館の受付サポーター



「暮らしに役立つパソコンサロン」の初心者向け講座



カフェ・サポーターのテイスティング研修

地域の相互援助活動のネットワークづくりを目指して

NPO市民サポートセンター日野
事務局次長 土屋和子

日野市ファミリー・サポート・センターを日野市より受託して3年目を迎えています。

昨年度、3,4ヶ月健診会場(月3回)や地域子ども家庭支援センター万願寺(月2回)説明会開催14回、講座付登録説明会4回、保育園および学童クラブ14ヶ所等々で積極的なPR活動を行いました。その結果、平成18年6月末現在で保育会員の合計1226名(依頼会員828名、提供会員341名、両方会員57名)を有し、家事・妊産婦・高齢者援助の会員数を加えると1727名の市民同士の相互援助活動組織となりました。

登録時にアンケートや聞き取りを行ったところ、3,4ヶ月健診では「今すぐには必要ないかもしれないが、万一のときにすぐお願いしたいから」という「子育てに安心と安全を求めている市民が多い」ことがわかりました。「登録している」ことが大きな安心感となって、子育て中の親をサポートしています。高齢者、家事支援では「今困ってい

るが、なかなか対応してくれるところがないので、助けてほしい」という市民からの切実な声が寄せられています。

このような多様な援助の依頼に応える提供会員は「若いころ皆さんに助けてもらったので恩返しをしたい」「私にできることで少しでもお役に立てば」とボランティア精神にあふれる市民の方々が多く、わたくしたちアドバイザーも頭が下がります。この7月には高幡地区では初めての保育講習会を実施したところ、定員を大幅を超える申し込みがあり、市民の関心の高さがうかがわれました。

今年度は、サブリーダーを中心に依頼会員、提供会員の出会いの場を企画するなどして会員相互の交流をはかり、日野市内に相互援助活動のネットワークづくりの第一歩を踏み出します。NPO市民サポートセンター日野は、ファミリー・サポートセンター事業を中核として日野市の子育て支援、地域の相互援助活動の拡大と充実を図る一年にしたいと考えています。



NPO活動報告

1 目指すはホテルのコンシェルジェ ☆

「多摩平の森ふれあい館受付」プロジェクト・リーダー 酒井照子

多摩平の森ふれあい館の総合受付業務を受託してはや3年目に入りました。ふれあい館にあります交流センターと男女平等推進センターの集会室の申請受け付けが主な業務です。ふれあい館には、図書館、児童館、こども家庭支援センターそして男女平等課がありますから、多くの市民の方が日々来館されています。その市民の方々に気持ち良くふれあい館をご利用いただけるようご案内することも私達の大切な業務です。

私達10名のサポーターで、朝7時から夜10時まで、年末年始を除いて毎日3シフトで業務をこなしています。サポーターは年齢的にも幅広く、人生経験の豊富な人材が揃っています。

さて、私達が目指しているホテルのコンシェルジェとは、宿泊されるお客様に快適にホテルライフを楽しんで貰うためにフロントが提供する様々なサービスをする人のことです。例えば、お客様からの依頼があればコンサートやイベントの券を用意したり、列車の予約をしたり、交通手段を案内したり、ベビーシッターを手配したりといった一人ひとりのご希望に沿ったサービスを提供します。

ふれあい館には様々な施設がありますから、ご利用者も赤ちゃんからご高齢の方まで幅広いので、私達は利用者一人一人に合ったサービスを提供できるように心がけています。バスの時刻表を用意したり、バス停をご案内したり、タクシーのご案内もします。お家に連絡したいけど、お金をもっていないというお子さんが来たり、CDを返したいけど預かってと窓口を持ってこられたり、急な雨で、傘はない?とこられたりもします。私達はいつも、「来館者のニーズに出来るだけお答えしましょうね」を合言葉にご利用者に接するように心がけています。また、他の交流センターのご案内やら、近隣の諸施設のご案内もよく致します。受付のカウンターには季節のお花や、お子様連れの方のためにちょっとした玩具も置き、それがきっかけで話しが弾むことも良くあります。

習い事を始めたいという方もよく受付に来られます。そんな時は、情報公開の許可を頂いているサークルに連絡したり、広報で調べて差し上げたりしています。体育祭や文化祭のシーズンには高校生や大学生の利用で夜は賑やかになります。私達までわくわくして来る季節です。親子で活動するサークルが多いのも楽しみなことの一つです。小さいお子さんがバイバイと手をふって受付を通っていきます。周りにいる人の笑みが広がる幸せな時です。ご年配の方も澁刺とダンスや体操、語学に取組んでいらっしゃる方もいます。人生の先輩から元気を頂く幸せな時です。

私達は、利用された方にまた利用したいと思って頂けるような受付でありたいと思っています。コンシェルジェのように、いつも笑顔で、丁寧な対応をモットーに業務に励んでいます。でも、本当は、私達は来館されるお客様から元気と遣り甲斐を頂いているのだと思います。

2 仕事を通して成長していきたい ☆

「日野市立新選組のふるさと歴史館」プロジェクト・リーダー 室園理香子

「新選組のふるさと歴史館」では、NPOの仕事として、開館している週6日間(月曜休館)の受付案内、事務補助を私たちスタッフ5名がローテーションを組んで担当しております。

交代勤務はチームワークが大切ですが、幸いとてもまとまりの良いチームで、日々いろいろなことを話し合い、歴史館を訪れるお客様に少しでも喜んでいただけるよう心がけて仕事をさせていただいております。

この仕事を始めるまでは、全くと言って良い程、新選組に対しての知識のなかった私たちも、事前の「新選組関連施設見学」研修や、新選組に関する書籍、資料などで学ぶなどして、最近では、お客様へ自信をもってご案内出来るようになってまいりました。

新選組のふるさと歴史館には、遠くから何度もいらっしゃる熱心なファンの方が多く、そんな方々から「楽しかった、また来ます」と言われると、とても嬉しくなり、受付での案内にも力が入ります。

昨年12月10日から始まった特別展「新選組誕生」ですが、今年の3月末までは、実践女子短大の学生さんたちに社会勉強をかねたアルバイトとして受付に入って頂き、共に受付案内の仕事を経験してもらいました。18~19歳という娘のような年頃の学生と一緒に仕事をするに際しては、社会でのマナーをひとつ一つ指導するなど大変な面もありましたが、勤務終了時に学生さんたちから「これから社会に出て働くにあたり、とてもよい経験ができ、勉強になりました」と聞き、とても嬉しく、自分の娘を社会に送り出すような気持ちになりました。

これからも、今日より明日、明日よりも明後日、何か一つずつでも自分自身の成長にプラスになるように心がけ、気がついたことやお客様の声を取り入れ、日野市が誇る「新選組のふるさと歴史館」をより良いものにしていくために、現場から様々な提案が出来るよう、日々がんばっていききたいと思います。

最後になりましたが、特別展「新選組誕生」は好評につき、会期を8月31日(木)まで延長し、開催中です。新選組隊士を多く輩出した「新選組のふるさと日野」をより知って頂くためにも、ぜひ「新選組のふるさと歴史館」にご来館下さい。受付スタッフが笑顔で皆さまの御来館をお待ち致してしております。

尚、特別展「新選組誕生」終了後は次の企画展準備のためにしばらく閉館し、9月23日から12月17日まで、郷土資料館主催の特別展「絵図から見える江戸の風景」が始まります。この特別展からは、江戸時代に作られた村絵図、江戸図を通して、当時の日野宿や市域の村々、江戸市中の様子がうかがえることでしょう。様々な目的に応じて作られた絵図は、あせることのない鮮やかな色彩など江戸文化の「粋(すい)」を集めたもの。どうぞお楽しみに!

あなたに力がかけてほしい！ サポーター募集

当NPOでは、活動のサポート(手助け)をしてくださる方を募集しています。これから地域での様々な貢献活動が増えていくに従い、会員の皆様の力が是非必要です。活動の内容としては次の通りです。
* 簡単な入力作業
* ニュースの編集や発送作業
* ホームページの更新

* イベントや講座開催時のサポーター(受付、案内)
新規事業の立ち上げプロジェクトメンバー: 保育士、幼稚園教諭、看護士、ヘルパーの資格をお持ちの方。子育て支援の分野などで、会員の皆様とご一緒に資格やキャリアを生かす活動を開発していきたいと考えています。まずはサポーターの登録をしていただけます

よう、よろしくお願致します。
「多摩平の森ふれあい館」の受付案内スタッフ、「Cafe Green」のサービススタッフ、「新選組のふるさと歴史館」の受付案内・事務補助スタッフもNPOサポーターの活躍の場となっています。
お問合せは Tel&Fax : 042-583-1528 まで。



最近、新聞や雑誌などメディアでよく“コピキタス社会”ということがいわれていますが、その意味は、「何時でも何処でも意識せずに、情報通信技術(IT)を利用できる環境を実現した社会のこと」です。

先日、2006年度版の「情報通信白書」が総務省から発表されました。白書によると、2005年のインターネット利用人口は前年比581万人増え、8529万人で日本全国の人口に対する普及率は66.8%になったそうです。

社会のIT化は予想をはるかに超えるスピードで進んでいて、今後のメディア環境も大きくネット情報にとって変わるであろうことが読み取れます。

日野市においても、社会のIT化のスピードに対して市民の間のIT格差対策が大きな課題となります。早急にIT環境を整え、市民や地域社会のニーズに応えることが求められています。

このような背景を基に、昨年11月より、民(NPO)学(実践女子学園)公(日野市)が連携したIT推進拠点事業「暮らしに役立つパソコンサロン」を運営してきました。

会場の実践女子学園生涯学習センター4F教室は、実践女子学園が提供、パソコンやソフト、プロジェクター機器などは日野市で、パソコン講座は当NPOが運営を担当するという形の連携です。

パソコン講座は、3つのコースがあります。初めてパソコンにさわる、まったく初心者の方にぴったりの「超初心者向け講座」、パソコンの基本を学ぶコースでパソコンを始めたばかりの方、おさらいをしたい方にぴったりの「初心者向け講座」とパソコン

の基本操作ができる方にぴったりの「ステップアップ講座」です。

17年度は「初心者向け講座」と「ステップアップ講座」に延べ300人を超える市民の方々が受講されました。受講者から、とてもわかりやすく受講して良かった。大変、勉強になりました。早速、家でやってみたいと思います。などNPO事務局にたくさんお礼の言葉をいただいています。

また、この講座とは別に、「パソコンなんでも相談」や「自宅訪問サポート」(個人レッスン・パソコン診断)もあり、パソコンが動かない・動きが遅い、メールができない、印刷がうまくいかない、ウイルスが心配対応をなど、相談や自宅訪問して教えて欲しい、対応してほしいという依頼も増えてきています。

これからの活動ですが、新しい事業に着手します。下期から、「自治会ホーム作りのモデル事業」です。昨今、地域の「安全・安心」対策へのニーズはますます高くなってきています。一方、核家族化、少子・高齢化に歯止めがかからず、地域社会への帰属意識は低下するばかりで、また、進展する高度IT社会では、情報格差が生じていくことも大きな問題となってきています。

これらの問題を、市民にとって身近な自治会のホームページを通して、解決をはかると同時に、“誰でもITの恩恵を実感できる市民自治社会の実現”を目指すものです。

これからもNPO活動をとおして、ITを活用する活動のサポートを展開してまいります。みなさまのご支援とご協力をお願い申し上げます。



あたたかい窓になって

NPO市民サポートセンター日野 副理事長
早川 裕子

ファミリー・サポート・センターの会員数が、2年前のスタート時の二倍以上となって1700人を超え、中でも保育支援活動がダントツに多いようだ。

子どもたちの世話を任される提供会員さんは、子どもにとって親以外の、最も身近な大人の一人である。ともすれば近視眼的に、あるいは主観的にわが子をとらえがちな親とは、またちがったまなざしを「よそのおばさん」から注がれて世話を受けることは、その子どもにとって視野が広がったり、いつもと違う自分を発見できる機会にもなる。

核家族の中でとかく閉鎖的になりがちな家庭のために、提供会員さんの存在が、懸命に子どもを育てている依頼会員さんの助けになるばかりでなく、預かる子どもにとっても、あたたかみのある社会に通じる窓であってほしい。世の中の大人に対する信頼感がゆらいでいる今こそ、提供会員さんが子どもたちの心に果たす役割は大きいように思われる。

民・学連携事業
シネマ&レクチャー

「私は男女平等を憲法に書いた」

—22歳のベアテは泣いて抗議したが—

戦後日本に駐留していたGHQの民生局憲法草案起草委員のひとり、当時22歳のベアテ・シロタ・ゴードンさんは、辛く哀しい立場におかれていた当時の日本女性の状況に心を痛め、何とか女性の人権を確保しようと、各国の憲法を参考にしながら、当時としては先駆的な男女平等と女性の権利を憲法草案に書きました。

憲法改正が何かと取りざたされている今、私たちの暮らしに大きく影響するこの憲法の精神をふりかえりながら、戦後50年あまり憲法草案作成メンバーで陽が当たることのなかったベアテさんの足跡をたどり、平和や男女平等について学びます。当NPOの会員は無料としますので是非、ご参加ください。

日 時 2006年12月9日(土)
13:30開場 14:00~16:30
14:00~14:30 レクチャー「男女平等はあたりまえ...だけど」
講師:鹿島敬(実践女子大学教授)

<休憩>

14:40~16:25 上映「私は男女平等を憲法に書いた」

会 場 実践女子短期大学講堂
参加費 学生 無料 一般 300円(資料代)

主 催(予定) NPO市民サポートセンター日野・実践女子大学・
実践女子短期大学・日野市

協 力(予定) 日野市男女平等推進協力市民の会
内容等、変更する場合がございます。予めご了承下さい。



Cafe Greenの仲間たち

カフェ営業時間：
11：30～17：00（月曜日休業）

- ◎メニュー
- コーヒー……250円
- 紙茶……250円
- オレシジューズ……200円
- カフェオレ……320円
- ミルクティ……280円
- イタリアンジェラート……260円
- アイスコーヒー……300円
- アイスティ……300円
- カフェグリーン・セット……450円
(コーヒー・シサイズor
アイスコーヒー+パウンドケーキ)

みなさんからの声が何よりの励み

Cafe Green スタッフ 菊池 りえ

「多摩平の森ふれあい館」にCafe Green が産声をあげてから早いもので3年目を迎えました。スタッフの6人がローテーションを組んで力を出し合いながら日々楽しく活動させていただいています。

私はオープン当初から活動に参加させていただいていますが、最初は専門家にコーヒーの入れ方を教えていただきました。それからは何度も練習を重ね、入れ方を勉強しているうちに他店の味と比較してみたり、ブラックで飲んでみたりと段々とコーヒーに深くはまるようになりました。

私がビックリしたことは、同じ分量のコーヒーの粉、同じ温度のお湯、つまり同じ条件でコーヒーを入れてもドリップされたコーヒーの味が入れる人によって、その日の気温や湿度によっても多少違ってきます。そこで私たちスタッフは、お客様に出すコーヒーになるべく味のムラがでないように、月1回のミーティングの折にティスティングを重ね、スタッフ同士、正直な声を交し合い試行錯誤しながら、研鑽を深めています。コーヒーも紅茶も本当に奥深い飲み物だとつくづく実感しています。

コーヒーはお客様からご注文をいただいてから入れますので、少しお待ちするのですが、丁寧に心を込めているよ

うにしています。それだけに「美味しい」という声をいただくと、何より嬉しく幸せな気持ちになり、励みにもなります。メニューも限られた条件の中で工夫を重ねています。お客様に喜んでいただけるよう、新しいメニューや、季節ごとのセットメニューを考えたりと、真剣に知恵を絞っています。その成果が、最近はポイント・カードをご持参する常連さんが増え、集会所からのご注文も増え、日野産として人気の大木ファームのジェラートもメニューに加わったりして、やっと経営的に見通しがついたところです。

有機無農薬そしてフェアトレード（コーヒー生産者が公正な利益がえられるような貿易の仕組み）の美味しく香り高いコーヒー・紅茶、そして小さなお菓子を皆さんに味わっていただきながら、これからも市民の皆さまがホッと癒しの場、交流の場として成長していきたいと思っています。市民の皆さまの声が私たちの糧となります。どんなことでもお声を、ご提案を寄せていただくと嬉しいです。

隣接する多摩平団地跡の遺跡調査が終わりました。窓にひろがる緑を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごすには是非お出かけください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

平成17年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支計算書
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)	金額 (単位:円)
【収入の部】		
1. 会費・入金収入		
入金収入	12,000	
会費収入	240,000	252,000
2. 事業収入		
ファミリー・サポート・センター育児支援事業	11,000,000	
ファミリー・サポート・センター介護・家事支援事業	6,900,000	
ITを利用して市民の自立支援及び能力向上に寄与する情報の提供事業	681,300	
市民のライフステージに応じた学習及び資格取得講座の開催及び講師派遣事業	675,000	
市民活動を行っている団体等との交流、連携及び協力事業	23,500	
コミュニティカフェ事業	2,261,870	
公、私立の施設管理運営事業		
ふれあい館施設管理運営事業	4,838,718	
新選組のふさと歴史館館内業務等事業	4,347,204	30,727,592
3. 助成金収入		
イー・エルダー助成金	302,880	302,880
4. 寄付金収入	222,000	222,000
5. 雑収入	62	62
当期収入合計		31,504,534
前期繰越収支差額		683,002
収入合計		32,187,536
【支出の部】		
1. 事業費		
(1) 日野市ファミリー・サポート・センター事業		
ファミリーサポート育児支援事業	10,476,191	
ファミリーサポート介護・家事支援事業	6,571,429	
(2) 家事一般・子育て・介護に関する支援事業	672,744	
(3) ITを利用して市民の自立支援及び能力向上に寄与する情報の提供事業	645,786	
(4) 市民のライフステージに応じた学習及び資格取得講座の開催及び講師派遣事業	560,666	
(5) この法人の目的を達成するための啓発広報事業	239,370	
(6) 市民活動を行っている団体等との交流、連携及び協力事業	2,148,244	
(7) コミュニティカフェ事業	4,294,468	
(8) 公、私立の施設管理運営事業	3,676,351	29,285,249
ふれあい館施設管理運営事業		
新選組のふさと歴史館館内業務等事業	837,187	837,187
2. 管理費		
当期支出合計		30,122,436
当期収支差額		1,382,098
前期繰越収支差額		676,731
次期繰越収支差額		2,058,829

平成18年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支予算書
平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)	金額 (単位:円)
【収入の部】		
1. 会費・入金収入		
入金収入	30,000	
会費収入	355,000	385,000
2. 寄付金収入	150,000	150,000
3. 受託収入		
ファミリーサポート育児支援事業	11,000,000	
ファミリーサポート介護・家事支援事業	6,900,000	
育児支援家訪問事業育児家事支援業務	101,600	
ふれあい館施設管理運営事業	4,839,000	
新選組のふさと歴史館館内業務等事業	4,964,000	28,719,000
4. 事業収入		
コミュニティカフェ事業	2,500,000	
IT推進支援事業	700,000	3,250,000
市民活動団体協力事業	50,000	
5. 雑収入		
雑収入	1,000	1,000
【収入の部】合計		32,505,000
【支出の部】		
1. 事業費		
(1) 日野市ファミリー・サポート・センター事業		
ファミリーサポート育児支援事業	10,476,000	
ファミリーサポート介護・家事支援事業	6,571,000	
(2) 家事一般・子育て・介護に関する支援事業	968,000	
(3) ITを利用して市民の自立支援及び能力向上に寄与する情報の提供事業	700,000	
(4) この法人の目的を達成するための啓発広報事業	263,000	
(5) 市民活動団体等との交流、連携及び協力事業	2,148,000	
(6) コミュニティカフェ事業	2,500,000	
(7) 公、私立の施設管理運営事業		
ふれあい館施設管理運営事業	4,608,000	
新選組のふさと歴史館館内業務等事業	4,681,000	
事業運営管理費	1,491,000	31,014,000
【支出の部】合計		32,505,000



2007年度NPO会員募集 年会費納入のお願い

NPOが活発な活動を展開するためには、NPOの趣旨に賛同し、活動を支援して下さる皆さまのサポートなしには成り立ちません。ぜひ、会員の輪を広げるためにご協をお願いします。また、寄付も常時受け付けています。

- 一般会員（活動に参加して下さるひと） 1,000円
- 賛助会員（活動を支援して下さるひと） 3,000円（1口）
- 法人会員（活動を支援して下さる法人） 30,000円（1口）
- 運営会員（運営に積極的にかわるひと） 10,000円
- 入会金（一般会員、運営会員のみ1,000円）

会員特典 年3回の会報をお届けし、主催講座やイベント等にご優待します。

編集後記

スタッフの猛烈的な努力により、ファミリー・サポート・センターの会員数が大きく伸び、事務局は大忙しの日々です。NPOならではの頑張りがスタッフの健康や家族との時間を損ねやしないか、心配しているところです。

市民のサポート活動のニーズは増えるばかり。事務局ではこの春から土屋事務局長を迎えてパワーアップに向けて、戦略を練っているところです。今後共皆さまのご支援をお願いします。



古紙配合率100%再生紙を使用しています
石炭黒顔料を含まないインクを使用しています